

(公社)神奈川県理学療法士会災害対策委員会

第6回災害対策研修会が開催されました。

災害対策委員会 下田 栄次

平成29年9月13日(水)「ユニコムプラザさがみはら」におきまして

「災害対策委員会第6回災害対策研修会」が開催されました。

東日本大震災から6年半が経ち、「平成28年熊本地震」や記憶に新しい「九州北部豪雨災害」より2か月が経過しました。私たち災害対策委員会では、災害時における理学療法士の役割やリハビリテーション支援の「あり方」を検討しています。今回は「災害時における神奈川県医療救護体制や保健活動とリハビリテーション関連職との連携について」をテーマに行政や保健師と連携していくことで出来る地域づくりについて検討することを目的として研修会を開催しました。

講師には神奈川県庁より吉野雄二氏(神奈川県保健福祉局保健医療部 健康危機管理課 健康危機グループ)、横浜市役所より瀬戸晶子氏(横浜市健康福祉局 地域福祉保健部 福祉保健課 担当係長)を迎え、災害医療救護体制や保健師の取り組みについて「平成28年熊本地震」の際、支援活動をされた経験も踏まえてお話しいただきました。

○神奈川県における災害時対応について(吉野氏)

県災害対策本部(安全防災局)の下に県医療救護本部(保健福祉局)が設置され、3階層で対応する救護班派遣等調整機能があります。①県・・県医療救護本部災害医療コーディネーター ②2次保健医療圏・・保健福祉事務所地域災害医療対策会議地域災害医療コーディネーター&各政令市の災害対策本部 ③各市区町村・・市町村の災害対策本部

※横浜市・川崎市・相模原市では、市の実情に応じた医療救護体制が構築されており、県医療救護本部と連携した医療救護活動を行います。

○災害時における保健活動について(瀬戸氏)

横浜市防災拠点と指定避難場所、避難所の分類と役割(一次、二次、福祉避難所)について「平成28年熊本地震」時の横浜市の保健師による公衆衛生支援、生活支援としての避難所内環境調整についてお話しいただきました。またリハビリテーションとの連携として避難所内の移動や仮設住宅での生活課題への対応、トイレに関する具体的な事例についても検討することができました。

平日夜間の開催となりましたが、医師や作業療法士、ソーシャルワーカー、職業訓練士といった他職種の方の参加もあり40名を超える多くの方々にご参加いただきました。私たちの活動が神奈川県内においても着実に広まってきている事を感じました。本当にありがとうございます。10月31日(火)には、相模原ブロック災害対策キャラバンを開催する予定です。さらに各地域にて具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお願い致します。

